

～よくあるご質問・予約編～

Q.「予約は何日前からできますか？キャンセルの場合はいつまでにしたらよいですか？」

A.「ご予約はいつからでも受け付けております。大安日はご昼食、ご夕食とも大変混み合いますので、お早めにお問い合わせ下さいませ。直前でも空室があれば承り可能ですが、慶事料理など特別あつらえはご用意致しかねる場合がございます。また、キャンセル料は当日では全額申し受けます。人数やお料理など変更事項がございましたら、お早めにご連絡下さいませ。」

Q.「個室はありますか？お部屋の広さやタイプを知りたい。見学できますか？」

A.「床の間のある堀こたつ式個室がございます。浅田公式ホームページにて間取りをご覧頂けます。お顔合わせ前のご紹介や、ご親族を含めた大人数でのご会食には、テーブルフロアの伊兵衛が便利です。いずれもご見学は営業時間外(15:30～16:30)で承っております。ご都合つきましたらお電話下さいませ。」

Q.「お料理はどんなものが、いくらから？」

A.「おすすめは“金沢伝統・大鯛唐蒸”祝皿の入ったお会席 福寿 14,000 円、宝寿 18,000 円でございます。恵寿 10,000 円、季節の会席 百万石 10,000 円、金沢 8,000 円など、曜日・お時間・ご予算によりご提案申し上げます。」

Q.「個室に時間制限はありますか？一般的にどのくらいの時間を要するものなのでしょうか？」

A.「誠に恐れ入りますが、土日祝の大安ご昼食時の個室ご利用は、一室 1 時間半～2 時間、前半後半の二部制でご案内致しております。いずれもお時間ご歓談にご無理なくお過ごし頂いております。また、一日 1 組限定の“プレミアム宝寿プラン”もございます。お時間制限無く、眺望の良いお部屋を確約でご用意致します。」

Q.「結納品・記念品の持ち込みについておしえて下さい。」

A.「ご結納品の購入・飾付・当日の進行はご両家様にてお願い申し上げます。(結納品店ご紹介できます) お品は当日お持ち込みの他、宅配便の受取や会食後の配送も可能です。また、記念品ご交換の際には、塗りのお盆・お飾り用毛氈の無料貸出がございます。ご予約時にお申し付け下さいませ。」

Q.「相手方への土産は必要でしょうか？」

A.「例えば遠方からわざわざの場合にお気遣いなさるとよろしいのではないのでしょうか。ちりめんじゃこ山椒煮、牛肉時雨煮等、浅田自家製の瓶詰め“江戸三度 三種入 3,800 円、六種入 7,800 円”がございます。また、階下高島屋さんでは、地元の名産品がお買い求め頂けます。」

Q.「予約は誰の名前にすればよいですか？」

A.「ご両家様のご名字とご予約される方のお名前をお教え下さい。ご予約者様と当日までの細かなご相談をさせて頂きたく存じます。当日は受付にてお名字をお伝え頂ければ、係りがお部屋までご案内致します。」

～よくあるご質問・当日編～

Q.「服装はどのようなものにしたらいでしょうか？」

A.「よくお見かけするのは、男性スーツ／女性スーツまたはワンピースの装いです。ご結納の場合は振袖の方が多いですね。ご両家に大きな差が出ないよう事前の打合せをおすすめ致します。また和空間とお料理の特性上、素足以外のお足下のコーディネートと強い香水のご使用をお控え頂きますようお願い申し上げます。」

Q.「お店にはどちらが先に到着すべきでしょうか？ 待ち合わせはどのようにすべきでしょうか？」

A.「本来は女性側自宅に男性側が出向きます。店を女性側自宅に見立ててお出迎えされるご家族もいらっしゃると思いますが、現代風に一般的な待ち合わせポイントや、店の前で皆様おそろいになってからのご入店が多いですね。ただご結納の場合は、男性側が先に飾り付けをなしてから、女性側入室の順序です。」

Q.「誰がどこに座るのか、席順がわかりません。上座と下座の位置も教えて下さい。」

A.「一般的には、上座(床の間側)に新郎様側／下座(出入り口側)に新婦様側です。テーブルの奥から、“お父様～お母様～ご本人様”の順で、ご両家様がお向かい合わせです。その他ご要望に応じてご用意致します。当日客室係にご遠慮なくお尋ね下さい。」

Q.「初顔合わせです。室内での流れを教えてください。」

A.「①お揃い後、客室係が桜湯、ベルをお出しし、退出します。②ご両家様だけで簡単な自己紹介。記念品の交換はこの時点で。③その後ベルにて客室係をお呼び下さい。乾杯の仕度を致します。④乾杯～ご会食・ご歓談(ご家族の物語など)⑤締めのご挨拶・お土産お渡し・ご出発。進行は男性側のお父様が最も一般的です。また、記念撮影時は係がお手伝い致します。お気軽にお声かけ下さいませ。(乾杯時や祝皿のタイミングでの撮影をおすすめ致します。)」

Q.「やっぱり最初は緊張しますよね・・・空気は固いのですか？」

A.「拝見しておりますと、まず乾杯のお飲物をお決めになる際、遠慮されたり気詰まりされたりなさいます。乾杯までの時間も気になります。ご予約時に“初めまして”という儀式的乾杯のご注文をおすすめ致しております。近年はシャンパン、スパークリングワインが人気です。また清酒を引き盃に注ぐのも和の空間に非常に良くなじみます。アルコールを飲まれない方の対応も致します。その後はお好きな物を銘々にお楽しみ下さいませ。」

Q.「会計はいつ、誰がすれば良いのですか？」

A.「お支払いのトラブルが起らないよう予めご両家様でご相談の上、ご予約時にはどちら様よりどのように承るかご指示を頂いております。水菓子のタイミングで係にお声掛け下さり、中座なされるとスマートです。」

Q.「和服の客室係には何をどの程度までお願いしてもいいのでしょうか？ チップは必要ですか？」

A.「年間700組のお顔合わせ実績のある客室係たちはお料理お飲物のほか、写真撮影や雰囲気や和を和らげるためのお手伝いを致します。当然の事ながら誰でも初めての経験です、ご遠慮なく何なりとお申し付け下さいませ。ご奉仕料はお代に含まれておりますので過分なお気遣いはなさらないようお願い申し上げます。」